

# 連携だより



2019年10月

## 重症熱傷センターを開設しました



救命救急副センター長  
熱傷センター長  
小倉 崇以

連携医の先生方にはいつも大変お世話になっております。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。済生会宇都宮病院 救急・集中治療科 栃木県救命救急センター 副センター長の小倉です。このたび、当センターでは、熱傷センターを開設しましたのでお知らせいたします。当院ではあらゆる熱傷に対して適切な治療を行い、地域の皆様に貢献できる体制を整えております。

### 重症熱傷患者の治療について

重症熱傷患者の治療では…

1. 気道熱傷という特殊な困難気道に対する的確な気道管理
2. 気道熱傷および輸液蘇生に伴う呼吸不全に対する人工呼吸管理
3. 過剰負荷にさせぬ最適な輸液と循環動態管理
4. 壊死組織の外科的切除と抗菌薬の適正使用
5. 多剤耐性菌の出現リスクへの対処
6. 失われた皮膚に対する皮膚移植
7. 移植片の正着を実現するための栄養管理
8. 移植後のリハビリテーション
9. 移植部位の容姿形成
10. 社会復帰のためのメンタルサポート



↑実際の治療の様子

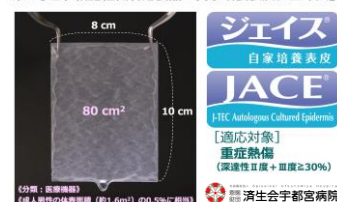
などのスキルが必須となります。

通常の救命救急医療で施されるような呼吸や循環の管理・維持だけでなく、壊死組織を取り除く手術や皮膚移植手術までが必要になり、その治療法は他の急性期疾患の難易度を遥かに超えるものです。

### 最先端の熱傷治療技術

当院では、最先端の熱傷治療技術である、自家培養表皮も使用できるようになりました。自家培養表皮とは、自分の皮膚を1cm四方のサイズで切り取って培養し、3週間かけてシート状に加工し、失われた表皮の部分に培養した自分の表皮を貼り付けて皮膚を再生させる治療です。適応はⅢ度30%以上の重症熱傷の患者さんとなりますが、もしもそのような方がおられましたら、積極的に当センターに御紹介いただければと思います。

第1号ヒト細胞組織利用製品「自家培養表皮ジェイス」



### 熱傷のご紹介について

生命の存続に関わる重症熱傷の治療はもちろんのこと、局所の熱傷も積極的に受け入れておりますので、ご紹介頂く際は地域連携課までご連絡ください。

地域連携課

連絡先

TEL【直通】028-626-5595

FAX【直通】028-626-5795

月曜日～金曜日 / 9:00～17:00 土曜日 / 9:00～12:00